

令和6年度 第2回
柏市教育福祉会館（ラコルタ柏）
運営協議会_資料

■日時

令和7年1月28日（火）

午後2時00分～4時00分

■場所

ラコルタ柏 4階 集会室

目次

委員名簿	P. 3
出席職員名簿	P. 4
次第	P. 5
2 議題 (1) 前回の振り返り	P. 6 ~ 7
(2) 令和 6 年度事業実施状況及び令和 7 年度事業計画 (案)	P. 8 ~16
(3) 事業推進委員会 (J S I) 企画 令和 6 年度事業実施状況 及び令和 7 年度進め方について	P.17~22

委員名簿

五十音順，敬称略

令和7年1月現在

氏名	所属等	備考
青 柳 直 樹	柏市ふるさと協議会連合会	
赤 松 夏 子	柏市公民館運営審議会	
金 子 洋 子	柏市民生委員児童委員協議会	
坂 上 彩 子	ママパパBOUSAIライフ	
高 市 樹 理	特定非営利活動法人NPOこどもすぺーす柏	
富 山 江美々	公募委員	
野 島 遥	公募委員	
牧 野 篤	東京大学大学院教育学研究科	副会長
山 崎 裕 司	特定非営利活動法人キャリアデザイン研究所	会 長

出席職員名簿

所属	役 職	氏 名
生涯学習部	部 長	宮 本 さなえ
生涯学習部 中央公民館	館 長	牧 野 共 子
福祉部	部 長	谷 口 恵 子
福祉部 福祉政策課	課 長	虻 川 純 子

事務局

- ・福祉部 福祉政策課
- ・生涯学習部 中央公民館
- ・柏市社会福祉協議会

次第

1 開会挨拶

2 議題

(1) 前回の振り返り（報告）

(2) 令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画（案）

(3) 事業推進委員会（JSI）企画 令和6年度事業実施状況及び
令和7年度進め方について

3 意見交換

4 事務連絡

5 閉会挨拶

2 議題(1) 前回の振り返り

NO	ご意見	状況
1	来館者の地域別把握	【実施済】 今年度の受講者等アンケート回答（有効数277）をエリアに振り分けたところ、北部23%、中央30%、南部24%、東部5%、また、市外は18%と市内全域からの利用が確認できた。
2	ふるさと協議会へのアプローチ	【実施済】 西原地域支えあい会議等と連携しながら進めている公民館事業があり、事業周知等、ふるさと協議会にも協力を求めながら実施を予定。この手法が地域にとっても馴染める場合は、他の地域にもアプローチし、講座等の実施に繋げていく。
3	他の部屋を工夫して音の出す部屋	【実施済】 5階の多目的室は、防音設備が整っていることから、1月より音楽利用できるよう変更した。

2 議題(1)前回の振り返り

NO	ご意見	状況
4	社会参加を目指す若者や子育てに悩む親達の活動の場	スクールソーシャルワーカーを通じたイベント案内、学生企画やラコルタ柏事業推進委員会（JSI）を通じて、若者の社会参加の機会を提供。 また、子育て中の保護者には、子育て支援団体や機関による親子イベントの他、定期的に相談の場を提供。
5	コーディネーター育成制度	コーディネーターではなく、自発的にラコルタで活躍できる人材の育成を検討していく。

2議題 (2)

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画(案)

R6 事業・イベント 年間予定及び実施回数(令和6年12月末現在)

項目 [中央公民館]	年間 予定	実施 回数	項目 [総合福祉センター]	年間 予定	実施 回数
生涯学習事業			多世代交流	95	71
①生涯学習講座	10	7	子育て	54	42
②自主活動・地域 活動支援講座	5	3	児童健全育成	37	28
ラコルタ柏交流事業			フレイル予防	18	14
①講座型	2	2	障害理解・支援	2	2
②イベント型	8	6	居場所・相談支援	75	53
③通年型・しかけ づくり	7	7	ボランティア育成	8	6
合計	32	25	展示	8	6
			合計	297	222

※R6年12月末時点

2議題 (2)

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画(案)

令和7年度事業計画(案)・中央公民館

概要

今年度から変更した事業区分，生涯学習事業とラコルタ柏交流事業との2つの事業区分で展開していきます

区分	ねらい	講座名/型	想定する講座や内容
生涯学習事業	第4次柏市生涯学習推進計画で示される柏市が目指す生涯学習像「笑顔と元気が輪となり広がるまち柏～学びを通じた地域活性化～」を推進する	生涯学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休みこども教室」 ・学生講師講座 ・社会変化・社会的テーマ(人生百年時代やSDGs等行政課題)に対応した講座(単発・啓発を含む) デジタル活用支援推進事業(会場：中央公民館)
		自主活動・地域活動支援講座	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ型の事業展開 デジタル活用支援推進事業(会場：近隣センター) ・自主活動グループによる講座 ・地域での活躍を視野に入れた，団体や人材の育成講座
ラコルタ柏交流事業	ラコルタ柏のコンセプト「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」の実現のため，交流の継続やコミュニティ形成を目指し，集いのきっかけづくりやしくみづくりを意識して，教育と福祉の融合による講座等を交えながら事業展開を図る	講座型	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティリンクワーカー養成講座」 ・ラコルタ柏を中心とする活躍を視野に入れた，団体や人材の育成講座
		イベント型	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラコルタ柏フェスティバル」 ・「わくわく人形劇まつり」 ・「N A ラボ～ラコルタ柏の深堀空間～」 ・ホワイトボード企画
		通年型・しかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード交流事業 ・「お昼に届けるminiライブ」 ・オープンスペースへの図書紹介コーナーの随時設置 ・「笑顔のBUTSUBUTSU交換」 ・館内装飾ワークショップ ・ラコルタ柏ガーデニング ・ぬり絵体験 ・学習スペース設置事業

2議題（2） 令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画（案）

【活動実績①】 NAラボ～ラコルタ柏の深堀空間～

実施のねらい

オープンスペースで、対話を通じて学校・世代の枠を超えた交流を図りながらより深い学びに達することを目的に、第1回目を8月に実施。



活動の結果（R6年12月時点・実施中）

実施回数	2回
------	----

活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

第1回目は、「進路・キャリア・学び」、2回目は「やりたいことの見つけ方」について、ファシリテーターがゲームや玩具などを媒介にしながら、参加者の対話を促して進めた。

参加者アンケートで、長期休暇であれば参加しやすいという回答があり、第2回目は冬休み期間に設定。

【参加者の反応】

- ・「新しい視点の発見」「自分の考えが整理できた」というアンケート回答が多く得られた。

【わかったこと】

- ・タイトル等が分かりづらいという声があり、参加者数も伸びないことから、第3回目は、周知の際のアピールポイント等を工夫して実施予定。また、JSI委員等、事業対象世代の意見も聞きながら、開催時間の変更等も試行していく。

2議題（2）

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画（案）

【活動実績②】ラコルタ柏フェスティバル

実施のねらい

- ・ラコルタ柏において、各種取組を行っている団体やサークル等が一堂に会して日頃の活動成果や作品などを発表し、来場者に団体活動のPRを行う。
- ・団体の主体性を高めるとともに、団体同士の交流を図る。

活動結果

参加者 延べ1, 934名



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・今回は、実行委員会での一時保育や当日のキッズコーナー設置などの新たな取り組みを実施。
- 【参加者の反応】
- ・参加団体「役割を通じて親しみや友情を感じた。参加して事業がどう作られていくかが分かった」
 - ・来館者「楽しかった」「あたたかい雰囲気の良い街だなと思えた」
- 【やって見えたこと】
- ・実行委員会主体で、広報・周知に力を入れ、インスタグラム発信や柏駅東口サイネージでの動画による開催案内なども実施したが、来館者が減少した。参加団体が減少したことが主な原因と見られ、次回に向けては、参加団体募集の広報・周知に力を入れる検討がされている。

2議題 (2)

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画(案)

【活動実績③】 障害者活動センター登録団体Presents.障害理解イベント

実施のねらい

12月3日～9日は障害者基本法に基づく障害者週間のため、関係団体及び障害福祉課は毎年様々な事業を行ってきたが、今年度、障害福祉課では、ラコルタ柏1階の障害者活動センターに登録している団体に呼びかけ、連続イベントを企画・実施。
センターだけでなく、2階多世代交流スペース、3階オープンスペースでも開催することで、より多くの市民へ、理解を促す。

活動の結果

1階催し参加者(延べ)	70人
2階	106人
3階	375人



障害者団体や市民等が描いた紙コップで作成したツリー

障害者活動センター登録団体Presents 障害理解イベント 「知る・わかる・つながる・生きる」		
12月	午前	午後
3日(火)	ミニミニ遊技所体験	ぶらっとサロン
4日(水)	オリジナルドリッポコーヒー作り インクルーシブスイングお茶会	フックトーク 本の中の障害者 + 特別障害就労
5日(木)	楽しい障害理解出前授業	むずかしい言葉・音場の体験・書き換えしてあったら?
6日(金)		いつか自分も立つかも しれぬ!情報
7日(土)	手話で歌を聴くこと、 ろう者と聴者の違いを理解しよう アンサンブル「たまたま」 元氣を届さんへ歌を贈るをのせて	半額ハーフマンス 半額ソング体験
8日(日)	オーケストラにもなる 金のバードを奏しよう! エコハークに扮する 動物のクリスマスツリー とにわく橋め! つばつお菓コッス 階が1のおもちゃもいもー探に遊ぼう	聴覚障害者とふれあおう
9日(月)	巻物筆記を使った目付	

それぞれのイベントの詳細は中巻をチェック!

世界に一つだけのクリスマスツリーもお披露目!
新しい形のイラストや文字、色付けした紙コップを積み上げてつくり、世界に一つだけのクリスマスツリーが8日(土)午前10時から披露。このクリスマスツリーがでてるのが、お楽しみ!
来年度多世代交流スペースには紙コップに絵を描く物販コーナーを設け、作成したクリスマスツリーは12月25日まで展示。

活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

【登録団体の感想】

- ・オープンスペースで実施したことで、誰でも気兼ねなく覗くことができたと思う。
- ・「障害者週間」や自分たち(障害関係団体)の認知度が少しは向上したのではないかな。

【担当課評価】

- ・活動センター以外でイベントを実施できたことで、団体の満足度が高かった点は評価できる。
- ・目的をもって来館する方も多い中で、来館者をイベントに取り込む方法は検討の余地がある。

2議題（2）

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画（案）

令和7年度事業計画・社会福祉協議会

概要

個人や団体からの提案により、障害の有無・性別・世代を超え、誰もが参加できるイベント、講座、相談・居場所について、企画運営をしていきます。また、孤独・孤立などの課題を抱える方に対し、参加や活躍の機会提供等コーディネートを行います。

	ねらい	想定する講座や内容
多世代	対象を問わない参加・交流	例 夜ヨガ、ゆるフラ、みんなで楽しむeスポーツ体験！ 紙コップでつくる巨大クリスマスツリー
妊娠・子育て	子育てに係る学び、親子同士の交流	例 産前産後の体の講話、出前保育、0歳の時間 リトミック、ベビーマッサージ
児童健全育成	主として小中高生対象に、進路や将来目標につながる学習や体験	例 未来の社会起業家になろう！、災害その時、君たちは何ができるか 理系大学生が教える初めてのプログラミング
シニア・フレイル予防	スポーツや文化（IT関係含む）などのイベントを通じたフレイル予防	例 健康体操100才まで歩ける身体づくり、生演奏でみんなで歌おう！ キャッシュレス決済を学ぼう、生成AIを体験してみよう！
障害理解	イベントを通じた、障害の理解をはじめ、当事者との交流	例 親子で福祉用具体験、手話カフェ 医ケアっこサロン
人材育成	ボランティア活動につながる講座や体験	例 ボランティア入門講座、活動体験 障害の理解をすすめる出前授業の担い手募集
居場所・相談支援	福祉ニーズを抱えた当事者や家族などが気軽に参加・利用できる居場所や相談	例 障がいのある子もない子もおもちゃで遊ぼう、子育て相談 10代のほっとカフェ、引きこもり家族の会、うつ病当事者・家族会
展示	絵などの作品披露の場、来館者へ施設（空間）の彩り提供	例 絵、写真、習字などの展示

2議題 (2)

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画(案)

【活動実績①】 eスポーツの日&ワガママ会議

実施のねらい

- ・ フリースペースで自然に会話が生まれる交流イベントを通して、不登校の学生や引きこもりの若者等、多様な方々の居場所になることを目指す。
- ・ 一人ひとりの興味・関心から、新たな可能性を見つけていくことを目指す。

活動の結果 (R6年12月時点・実施中)

実施回数 3回



活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

【参加者の反応】

- ・ 「ゲームなら、誰とでも一緒に楽しく遊べそう。」
- ・ 「いつも一人で寂しかった。みんなと過ごせる時間が嬉しい。」

【やって見えたこと】

- ・ “楽しい！おいしい！”等、誰もが興味関心を引くイベントを通して、社会との接点に課題を抱える方を含めた、様々な人との出会いが交差する場が自然と生まれた。
- ・ 出会いの中で、各々が抱える課題を共感したり、個々の多面性を新たに発見。「こんなことに挑戦してみたい」を形にしていくことで、イベント参加者から企画・活動者へのステップアップが見られた。

2議題（2） 令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画（案）

【活動実績②】 親子で最高のリラックスタイム

実施のねらい

ご近所パパママさんの挑戦！
整体師×ネイリスト×ベビーマッサージインストラクター×知育インストラクターが
★子育て世代の支援、サポートをしたい
☆日々の子育ての疲れを癒したい
★子育ての不安を少しでも解消できたら…
を連携事業で実現



活動の結果（R6年7月時点・実施中）

実施回数 1回

活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

【参加者の反応】

- ・「今は自分の事だけ考えていいんだよ」の言葉に涙する保護者の姿があった。
- ・「最高にリラックスタイムを過ごせました」と喜びの声。
- ・子どもを見守ってくれる、頼れる方がいると安心できた。

【やって見えたこと】

- ・「予約がなくふらっと行ける」が参加するハードルを下げ、足を運ぶ機会が増える。
- ・親だけがリフレッシュでは気が引けてしまうけど、子どもも楽しめるイベントを同時開催することで、安心して自分の時間（リラックスタイム）を過ごすことができる。

2議題 (2)

令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画(案)

ラコルタ柏 貸室の稼働率(参考)

月	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4	40%	46%	47%
5	40%	46%	47%
6	44%	49%	52%
7	50%	55%	56%
8	36%	42%	50%
9	46%	49%	55%
10	51%	54%	56%
11	59%	56%	61%
12	47%	49%	52%
1	46%	49%	—
2	50%	57%	—
3	49%	48%	—
平均	47%	50%	53%

ラコルタ柏部屋別稼働率(上位・下位)			
総合福祉センター			
部屋名	稼働率	定員	利用料
多目的研修室	47%	61人	780円
講座室	35%	25人	530円
活動室	26%	18人	420円
中央公民館			
部屋名	稼働率	定員	利用料
音楽室	93%	80人	470円
会議室5A	64%	25人	370円
}			
茶室	20%	17人	370円
料理実習室	10%	25人	780円

※R6年12月末時点

2議題 (3) 事業推進委員会 (JSI) 企画 令和6年度 事業実施状況及び令和7年度進め方について

【活動状況①】 まちのトークルームinラコルタ柏

実施のねらい

悩みを聞いて、社会的処方
ができる場所、いわば学校
の保健室的なものを作る



実施概要

令和6年8月21日(水)14:00-16:00 於：ラコルタ柏3階オープンスペース

事業推進委員会(JSI)に企画提案のあった「まちの保健室(仮称)」を、企画提案者(JSI委員・高校3年生)とラコルタ柏コーディネーターとの協議で「まちのトークルーム」に変更。今後各地域に展開することを想定して、inラコルタ柏とした。

- 1 内容 立ち寄りされた方と聞き手が、ざっくばらんに話す(特にテーマ等は設定しない)
聞き手：JSI委員2名, ラコルタ柏コーディネーター2名,社協職員
- 2 参加者数 13名(当日参加型) ※あいネット職員、あ・えーるテラス職員も来訪
- 3 主催等 柏市福祉政策課(柏市社会福祉協議会)・柏市中央公民館

成果/目標 達成状況など

【目標】来室者に明るい顔で帰ってもらう

達成 [施設内やラコルタ柏のSNSの周知にとどまったこともあり、参加者は関係者及びその場でお声かけをした方のみ。周知のための時間は確保する必要がある]

- ・「若い人と話したい」というシニア世代と高校生の多世代交流の機会にもなっていた。
- ・事前にブラックボードで「あなたのもやもやを聞かせてください」として催しを周知しながら、利用者の声を頂いたところ、多くの付箋を貼っていただいた。
- ・ラコルタ柏フェスティバルでも2日間にわたり実施。中学生からシニア世代まで34名の参加者があった。

2議題 (3) 事業推進委員会 (JSI) 企画 令和6年度 事業実施状況及び令和7年度進め方について

【活動状況②】 もしバナゲーム+哲学対話DEワタシの「しょうがい」を体感してみない？

実施のねらい

「生きる」「歳をとる」「障害をもつ」等をゲームや対話によって一緒に考え愉しく体感することで、認識を変化させる



実施概要

令和6年12月21日(土)10:00-12:00 於：ラコルタ柏3階オープンスペース

事業推進委員会(JSI)に企画提案のあった『生涯／障害☆学習講座～老いも若きも「しょうがい」から学ぶ』が実施困難であったことから、企画提案者(JSI委員)とラコルタ柏コーディネーターとの協議で「もしバナゲーム+哲学対話」に変更。JSI委員(企画提案者)や館内関係者(あいネット職員)が講師として参画し実施可能となった。

- 1 内容 人生の最後にどうありたいかを考える「もしバナゲーム」を媒介に交流をはかり、哲学対話によって「生きる」「歳をとる」「障害をもつ」等を、一緒に考え愉しく体感する
- 2 参加者数 17名
- 3 主催等 柏市中央公民館・柏市福祉政策課(柏市社会福祉協議会)

成果／目標 達成状況など

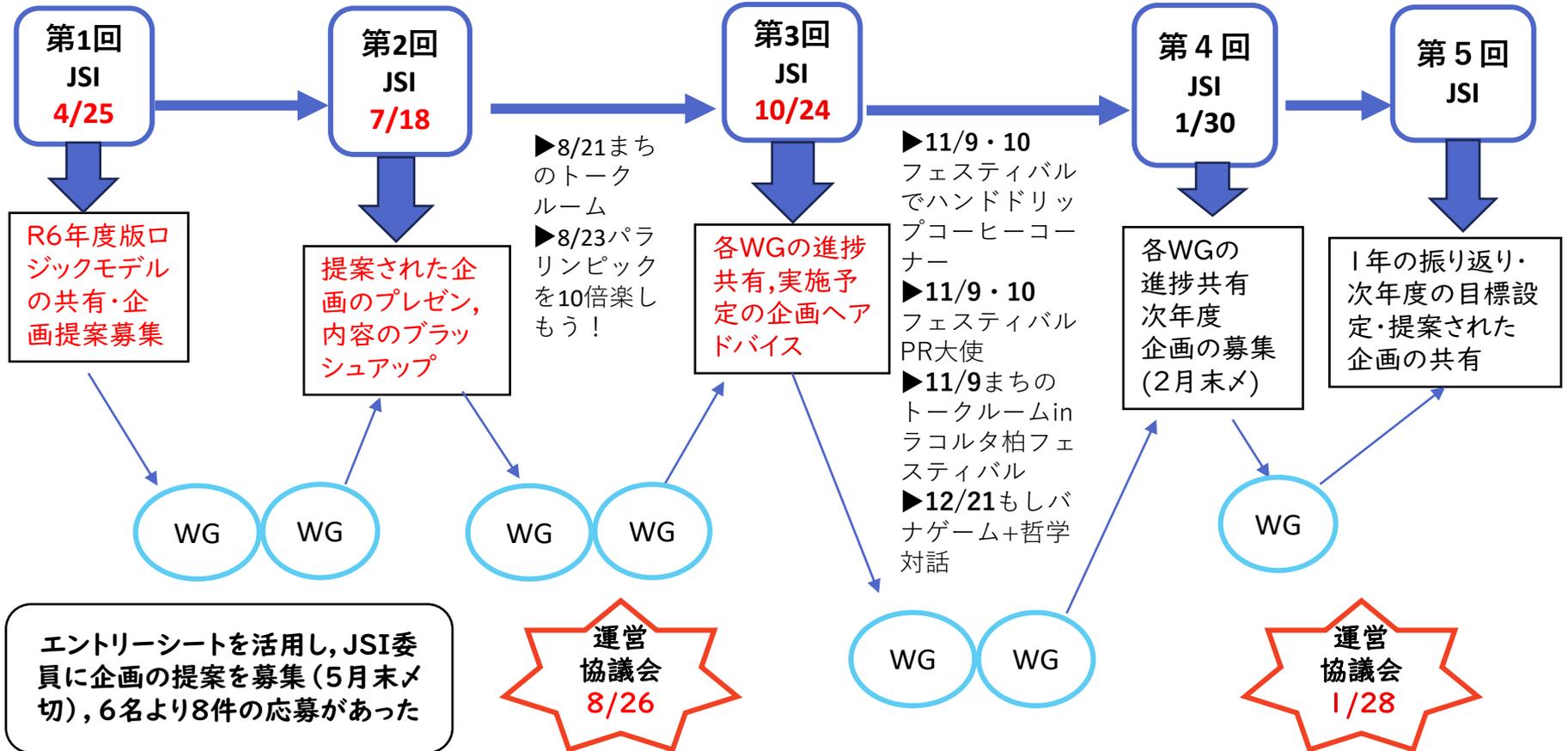
【目標】参加者アンケートで、「老いること」「障害を持つこと」への認識が変化した、と回答した方が8割 **未達成** [認識が変化したと回答した方は回答者14名中5名(4割弱)にとどまったが、内容への満足度は高く(8割強の方が満足)、次回開催を希望する声も複数名から聞かれた。]

- ・すべての人に共通でありながら普段なかなか意識を向ける機会のない「生きる」「歳をとる」「障害をもつ(体の動きが不自由になる)」について考え語り合うことで、人生において大切な価値観に気づくことができた
- ・中学生から70代の方まで多世代の参加者が同じテーマで自由に語り、互いの価値観に触れる機会となった
- ・40代の参加者が年代としては最多であり、新しい来館者を呼び込むことができた

2議題 (3) 事業推進委員会 (JSI) 企画 令和6年度事業実施状況及び令和7年度進め方について

令和6年度 スケジュール

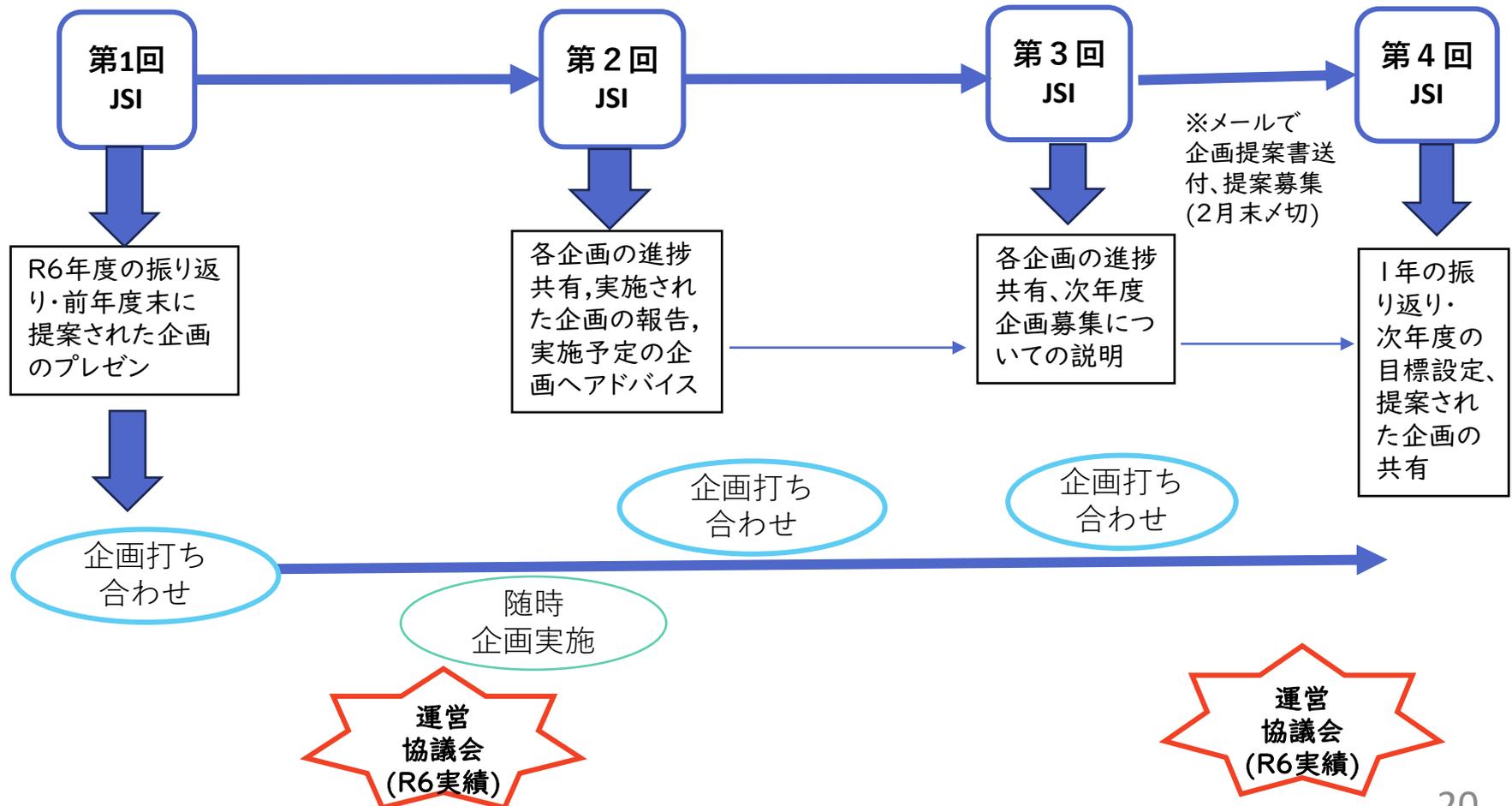
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



2議題 (3) 事業推進委員会 (JSI) 企画 令和6年度事業実施状況及び令和7年度進め方について

令和7年度 スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



2議題 (3) 事業推進委員会(JSI)企画 令和6年度事業 実施状況及び令和7年度進め方について

ラコルタ柏ロジックモデル

長期アウトカム

誰もが集える
みんながつながる
地域へ広がる

中期アウトカム

交流・学び・文化が交
差するコミュニティの
広場になっている

つながりを紡ぎ、未来
を創る場所になってい
る

ラコルタから始まる、
つながり広がる地域
活性化の輪ができて
いる

1年後アウトカム

JSIに参加する利用団
体や一般市民が増え
る

目的がなくても来館す
る人が増える

JSIを通じて自発的な
活動が生まれる

類似の活動団体同士
が横につながる

ラコルタ館内の取り組
みが地域でも取り組
まれている

それぞれの分野でラ
コルタ柏のプレゼン
スがひろまる

ビジターを呼ぶ魅力
的な手段が足りてい
る

ラコルタで活動した
い人に呼びかけがで
きるハブになる人を
育てる

つながりたい人とつ
なげる人を増やす

一過性で終わらず次
の展開につながるよ
うな事業を考える

館の取り組みを地域
で実施できるアツア
ツスポットを増やす

近隣でも展開でき
そうなモデルケース
の事業が行われている

2議題(3) 事業推進委員会(JSI)企画令和6年度事業 実施状況及び令和7年度進め方について

誰もが集える みんながつながる 地域へひろがるラコルタ柏

JSI委員の方のお顔ぶれ

Yさん(大学4年生)：昨年からJISに参加。ラコルタ柏フェスタではまちのトークルームinラコルタ柏とのコラボレーションでコーヒーの配布をおこなっていただいた。そこから12月15日に行われた中高生の居場所TeToTeの中高生の広場お披露目会にてもコーヒーの提供を行ってくださった。

Mさん(40代)：UDC2の企画にてコーディネーターと出会い、依頼を受けJSIに参加。2月16日にUDC2主催のイベント企画にてラコルタ柏で活躍している学生さんたちを含め、市内学生の探求学習の取り組みや活動発表の場を企画中。

Mさん(高校3年生)：受験に専念する9月までに、ぜひ企画を実現したい！とJSIに参加。提案された「まちの保健室(仮)」は、「まちのトークルームinラコルタ柏」として実施が決定。「公共の施設で、こんなに早くやりたいことができるとは思わなかった」⇒8/21実施(11/9・10コルタ柏フェスティバルでも実施)。今後も、この企画を継続していきたいとお考えです。

Tさん(60代)：今年3月に退職、培った経験やネットワークをJSIに活かしてもらいたいと、コーディネーターの依頼を受けてJSIに参加。自身の提案企画を進めるとともに、Mさんの企画にワーキンググループメンバーとして参加している。⇒12/21「もしバナゲーム+哲学対話」を実施。当日は、哲学対話のファシリテーターとして活躍されました。

Kさん(30代)：子育て中のパパ。ご自身とご家族の子育て経験から、パパママ支援の取り組みを拡げたいと考えている。⇒2階多世代交流スペースで12/18「親子で最高のリラックスタイム」を実施。整体師のスキルを活かして、子育て中の保護者の方が体と心を休めることのできる時間を提供されていました。